

## 令和二年度 推薦入学試験問題「国語」

4-1

【試験上の注意答えはすべて解答题用紙に記入すること】

一 次の文章を読んであとの問いに答えよ。

愛着の絆が形成されると、子どもは母親といえることに安心感をもつだけでなく、母親がそばにいても次第に安心していられるようになる。安定した愛着が生まれることは、その子の安全が保証され、安心感が守られるということでもある。ボウルビイの愛着理論を発展させた、アメリカの発達心理学者メアリー・エインスワースは、愛着のこうした働きを、「安全基地」という言葉で表現した。

子どもは、愛着という安全基地がちゃんと確保されているとき、安心して外界を冒険しようという意欲をもつことができる。逆に、(1)母親との愛着が不安定で、安全基地として十分機能していないとき、子どもは安心して探索行動を行うことができない。

(A) 知的興味や対人関係においても、無關心になったり (I) になったりしやすい。守られていると感じている子どもほど、好奇心 (a) 旺盛で活発に行動し、何事にも積極的なのである。

そして、一歳半を過ぎるころから、子どもは徐々に母親から離れて過ごせるようになる。しかし、ストレスや (b) 脅威を感じると、母親のもとに避難し、体を触れ合わせ抱っこしてもらおうことで、安全を確保し安心を得ようとする。

三歳ごろまでには、一定期間であれば母親から離れていても、さほど不安を感じることはなくなり、また母親以外の人物とも、適度に信頼して関わりをもつことができるようになる。母親を主たる愛着対象、安全基地として確保しながら、同時に、他の従たる愛着対象や安全基地をもち、活動拠点を広げ始めるのである。

このことは、大人においても基本的に同じである。安定した愛着によって、安心感、安全感が守られている人は、仕事でも対人関係でも積極的に取り組むことができる。

「安全基地」を確保している人は、外界のストレスにも強い。さらに言うと、幼いころにしっかりと守られて育った人では、大人になってからも (II) をうまく守れるのである。

(B) ある研究では、二歳の時点で親から十分なサポートを得られた人の場合、青年期になってから、恋人に気軽に (III) ことができる傾向が認められている。逆に言えば、二歳の時点で親からの支えが (c) 乏しかった子どもでは、恋人にうまく甘えられないということである。愛着スタイルや愛着の安定性が、うつ病やアルコール依存症の発症リスクに関係していることは、この点と無関係ではない。

ただ気をつけたいのは、過保護になってサポートを与え過ぎ、子どもの主体的な探索行動を妨げたのでは、良い安全基地ではなくなるということである。安全基地とは、求めていないときにまで縛られる

## 令和二年度 推薦入学試験問題 「国語」

4-2

【試験上の注意答えはすべて解答用紙に記入すること】

場所ではないのである。それでは、子どもを閉じ込める（d）牢獄になってしまい、依存的で、不安の強い、自立できない子どもを育ててしまう。

十分な安心が得られる「安全基地」が確保されていると、次第に「安全基地」から遠く離れていようと、あまり不安を感じることもなく、②、つまり仕事や社会的な活動に打ち込めるようになる。安全基地は、いざというときの避難場所でもある。必要なときに助けを与えてくれるという安心感があれば、いつもそばにいらなくてもよいのである。

C、何か特別な事態が生じて、ストレスや不安が高まったときには、「愛着行動」が活発になる。それが健全な状態であり、自分を守るために重要なことである。

愛着行動には、さまざまなヴァリエーションがある。幼い子どものように、愛着している人物と一緒にいようとしたり、体に触れようとしたりといった直接的な行動だけでなく、愛着する人物について考えたり、かつてその人物が言ったことやしてくれたいことを思い出したりするIV活動も含まれる。

ナチスによるユダヤ人迫害が激しかった時代、アウシュビッツなどの強制収容所に閉じ込められた人たちは、いかにして精神の平衡を保ったか。そのために大いに助けとなったのは、愛する人のことをVすることであったと、ヴィクトール・E・フランクルは『夜と霧』で述べている。フランクル自身、妻があたかもそばにいて、ささやいてくれるだろう言葉を脳裏に思い浮かべることで、過酷な試練に耐え、生きながらえることができたのである。

愛着行動は、ストレスや脅威が高まった状況で、愛着システム（愛着を担う脳内の仕組み）が活性化された結果、誘発される。誘発のされ方には、人によって大きな違いがあり、そこに、各人の愛着スタイルの特性がはっきりと示される。

安定した愛着においては、ストレスや脅威に対して、愛着システムが適度に活性化され、ほどよく愛着行動が増加することで、ストレスの（e）緩和や安定の維持が図られる。

ところが、人によっては、ストレスや脅威を感じても、愛着行動がほとんどみられないことがある。そこでは、（2）愛着システムの不活性化が起きていると考えられる。これは、愛着システムができあがるころに、愛着行動を抑えた方が生き残りに有利だった結果、不活化戦略をとるようになったためだと考えられる。

D、愛着を求める行動をとっても、拒絶されたり、何の反応もかえってこないことが繰り返された結果、最初から求めない行動スタイルを身につけたと理解される。

## 令和二年度 推薦入学試験問題「国語」

4-3

【試験上の注意答えはすべて解答用紙に記入すること】

また、ストレスや脅威に対して、VIまでの愛着行動が引き起こされる人もいる。このタイプの人の場合、Bが過剰に活性化しており、少しでも愛着対象が離れていきそうな気配を感じただけで、強い不安を覚える。そのため大騒ぎをして、愛着対象が自分のそばにいるほかないようにする。これは、愛着システムが育まれる時期に、過剰活性化戦略が、自分の安全や安心を守るのに有利だった結果、そうした行動スタイルを身につけたと考えられる。たとえば、養育者の関心が薄く、大げさに騒いだときだけ、かまってもらえたというような状況である。

もつと複雑な反応がみられることもある。ストレスや脅威が高まったときに、愛着行動とは一見正対な行動が引き起こされる場合である。本当はそばにいてほしい人を拒否したり、攻撃したり、無関心を装ったりするというものだ。これも愛着行動の過剰活性化戦略の一つだとも言えるが、(3)こうした逆説的な反応は、愛着の問題が深刻なケースほど強く、また頻繁にみられる。求めても応えてもらえず、逆に傷つけられることへの不安や怒りが、(4)アンビバレントに同居する結果だと考えられる。

【出典：岡田尊司『愛着障害』光文社新書・二〇二二 作題のため省略した箇所がある】

問一 傍線部(1)「母親との愛着が不安定で、安全基地として十分機能していないとき、子どもは安心して探索行動を行うことができない」とあるが、「安全基地」とはどのようなものか。子どもの例を使いながら簡潔に説明せよ。

問二 空欄 I ～ VI に入れるのに最も適当な語を、次の(ア)～(エ)の中からそれぞれ一つ選んで符号で書け。

- |               |          |           |          |          |
|---------------|----------|-----------|----------|----------|
| 空欄 <u>I</u>   | (ア) 虚無的  | (イ) 消極的   | (ウ) 懐疑的  | (エ) 否定的  |
| 空欄 <u>II</u>  | (ア) 対人関係 | (イ) 子ども   | (ウ) 環境   | (エ) 自分   |
| 空欄 <u>III</u> | (ア) 頼る   | (イ) 愛する   | (ウ) 触れる  | (エ) 話す   |
| 空欄 <u>IV</u>  | (ア) 直接的な | (イ) 間接的な  | (ウ) 精神的な | (エ) 感傷的な |
| 空欄 <u>V</u>   | (ア) 記録   | (イ) 回想    | (ウ) 信頼   | (エ) 探索   |
| 空欄 <u>VI</u>  | (ア) 不合理な | (イ) 荒唐無稽な | (ウ) 不必要な | (エ) 過剰な  |

問三 波線部(a)～(e)の語の読みを記せ。

受験番号

広島市立看護専門学校 第一看護学科

令和二年度 推薦入学試験問題 「国語」

4-4

【試験上の注意答えはすべて解聘用紙に記入すること】

問四 空欄 A 〓 D を補うのに最も適当な語を、次の (ア) 〓 (オ) の中からそれぞれ一つ選んで符号で書け。

(ア) つまり (イ) その結果 (ウ) たとえば (エ) なぜなら (オ) しかし

問五 空欄 R 〓 〓 に入る言葉を、それぞれ本文中から抜き出せ。

問六 傍線部 (2) 「愛着システムの不活性化が起きていると考えられる」とあるが、それはどういうことか。簡潔に説明せよ。

問七 傍線部 (3) 「こうした逆説的な反応は、愛着の問題が深刻なケースほど強く、また頻繁にみられる」とあるが、それはなぜか。簡潔に説明せよ。

問八 傍線部 (4) 「アンビバレント」の意味として相応しいものを、次の (ア) 〓 (エ) の中から一つ選んで符号で書け。

(ア) 感情を認めることができないこと (イ) 感情が強められること  
(ウ) 相反する感情を同時に抱くこと (エ) 感情が相対化されること

二 次の文章にある傍線部のカタカナ表記を、漢字に改めよ。

一九五三年（昭和二八年）、アメリカ産小麦は近年にないほどの大豊作に恵まれた。

しかし当時のアメリカ合衆国政府にとって、このことは大きな頭痛の種でしかなかった。明らかな過剰生産であり、在庫分も含め、国内で消費できる程度の量ではなかった。おまけに倉庫の空きもなく、貯蔵場所の確保も儘ならぬ状態に①オチイっていた。②ロウキュウ船や貨車なども小麦の貯蔵に利用せざるを得ず、第二次大戦で使用された軍用輸送船すら倉庫として③ダイヨウせねばならぬ有り様であった。溜めておくには当然、金もかかった。合衆国政府は、一日の倉庫代だけで、日本円にして二億円もの額を支払わねばならなかった。第三四大統領ドワイト・デヴィッド・アイゼンハワーは、当問題の早急な解決を求められていた。これは同年一月に④シユウニンしたばかりの大統領に⑤カせられた、最大の経済問題になった。